

# 日本ウッドデザイン協会が農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省の4省と「建築物木材利用促進協定」を締結。



一般社団法人日本ウッドデザイン協会（東京都港区、会長：隈研吾）は、2023年6月5日、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省と5者連名で「建築物木材利用促進協定」を締結いたしました。4省との建築物木材利用促進協定の締結は初となります。

2023-6  
PRESS RELEASE

6月5日（月）

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

- 一般社団法人日本ウッドデザイン協会（会長：隈研吾）では、木を使って社会課題を解決し、かつ社会に木の良さや価値の再発見を促す顕彰制度である「ウッドデザイン賞」を主宰しています。最優秀賞として2022年よりこれまでの農林水産大臣賞に加え、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞を拡大創設したところです。
- 今般、4省庁と連携し木材利用促進を更に強化することとし、標題の協定を締結することとなりました。国との協定において4省庁との幅広い業種・分野をカバーした建築物木材利用促進協定の締結は弊協会が初となります。
- 協定の主な内容は、以下となります。
- ウッドデザイン賞の企画・運営及びその成果の公表を通じた、木材利用の認知拡大、ノウハウの提供、事業者間マッチングの推進。
- 異業種・産官学民で構成される弊協会会員及び地域が連携・協働する部会・分科会・ワーキンググループ等の企画・運営を通じて、木材利用の新たな技術開発・マーケティング手法等を開発するとともにこれらを普及啓発。
- 地方公共団体、地方試験研究機関、地方関係団体等の連携・協働により、各種セミナー、イベント、研修等を開催し、木材利用の分野拡大、クオリティの向上に取り組む。
- オフィスや商業施設等での積極的な木材利用促進により、働き手や事業者が木材による健康や安全、生産性向上等のメリットを享受しながら建築物等の脱炭素化のシフトを支援するとともに、環境保全等にかかる行動変容を後押しする。
- 6月5日には農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省をお招きして、協定締結記念式典を執り行いました。



## 主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会



木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会  
英文名 Japan Wood Design Association（略称：JWDA）  
設立 2021年11月18日  
所在地 東京都港区新橋3-5-2 新橋OWKビル6階  
会長 隈 研吾  
会員 140（企業、団体、自治体等、2023年5月時点）

<https://www.jwda.or.jp/>